

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	遊園地（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加するなかでの、3年ぶりの行動制限のないお盆休みや、延期となっていたライブイベントの開催等で、来客数が増加傾向となっている。
	◎	その他サービス [葬祭業]（経営者）	お客様の様子	・今月は葬儀依頼がとても多い。また、隣の町役場からも依頼があり、パイプができた。高齢者は新聞の切り抜きを持って、60代以下の比較的若い方はスマートフォンで調べて連絡してきている。9割の方はお寺を呼ばずに「お別れの会」だけで葬儀を実施という状況である。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・行動制限がなかったこの夏は観光客も増え、新型コロナウイルス感染症の発生前の70%くらいまで戻ってきているが、お金の使い方は渋くなっている。
	○	一般小売店 [家電]（経営者）	販売量の動き	・夏物を中心に、商材全体の動きが良いと感じている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今月は猛暑で、飲料やアイス等の売行きが好調である。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・半導体不足による新車供給遅延は続いているが、大量のバックオーダーが納入され始めている。新型車イベント効果もあり、足元の受注も順調に推移している。
	○	タクシー運転手	販売量の動き	・現在の状況だが、新型コロナウイルス感染症の発生前に比べて74%まで回復してきている。今月はかなり良い状態で、前年比120%となっている。夜の売上は余り伸びないものの、昼の売上はやや良いという感じである。皆が新型コロナウイルス感染症に慣れきたということもある。
	○	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症に対しては感染対策を施して経済活動を行うという意識が普通になり、ウクライナ侵攻も通常状態となっしまい、経済活動に悪い影響が出てくるようになってきていると感じている。
	○	設計事務所（職員）	来客数の動き	・物件依頼数は多く、これから基本設計へ進める段階の案件も多くある。
	□	商店街（代表者）	販売量の動き	・例年、お盆明けから2学期が始まり、新学期が始まる前にはいろいろな物を新調したいということでかなり売れていたが、今年はどうなっているのかと思うくらい客足が遠のいて、期待外れである。
	□	一般小売店 [家電]（経営者）	お客様の様子	・エアコンを始めとした季節商材の動きも落ち着き、全体的に商材の動きは静かになっている。いまだに新型コロナウイルス感染症の終息が見えず、先の様子は不透明である。いろいろな物が値上がりしていくなかで、消費者の消費動向は鈍い。
	□	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染第7波と物価高の影響もあり、なかなか芳しい状況にない。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の影響による巣籠りと帰省の回復が同時進行している。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・8月25日時点で、前年比で売上は1%減、来客数5%減となっているが、27～28日にかけて忙しく、月末では前年を超える予想をしている。1泊すると2000円の商品券がもらえる県民割の利用店舗適用申請を8月にした効果で、500円券が70枚ほど利用されている。遠いところでは、30分も離れたホテルからわざわざ1000円の券を使うために来店している。9月から、当市独自のプレミアム付商品券も始まるので忙しくなる。早く新型コロナウイルス感染症が収束してほしい。
	□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・いろいろな物の価格が上がったこともあり、客単価というか買上点数がやや厳しい。やはり来客数が減っており、単価の高いたばこ等は増えているものの、日用品が厳しい状態である。
□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・円安など物価高の影響で、購入客が減少している。	

□	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・車検、一般整備はお盆休み前後で順調に推移している。車両販売は、相変わらず中古車市場の高騰が続き、新車販売も人気車種の納期の予定が付かず、ディーラーと契約を結ぶことすらできないことがあり、低迷している。
□	自動車備品販売店 (従業員)	お客様の様子	・商材の再値上げ等の影響もあり、一時的に来客数等は増えているものの、燃料費を含めた物価上昇による客の節約志向は強く、景気が良くなっているとはいえない。
□	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の別系統の影響で、新規感染者数の減少が見込めないが、出足はぼちぼちあり、極端な落ち込みは見られない。当店もかなり厳しく入店制限をしているため、大幅な売上増は見込まない。
□	スナック (経営者)	お客様の様子	・客の様子と回答したが、景気は悪いままで変わっていない。本当に地方は困っている。
□	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宿泊稼働率が前年8月に比べて120%ほどになっている。良かった理由は、地元の花火大会の開催や行動制限のない夏休みで、お盆を中心に県外客がたくさん来たためである。一方、新型コロナウイルスの感染第7波の影響で、納涼会は95%近くが開催中止となってしまうている。
□	旅行代理店 (副支店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況は増加と減少を繰り返しており、感染減少時には販売量が増加し、増加時には販売が減少している。この繰り返しを総合的にみても、特段変化は見られない。
□	観光名所 (職員)	それ以外	・来客数は戻りつつあるが、食材の原材料価格高騰により、原価率が急激に上がっている。飲料等の仕入商材も軒並み値上げで、いよいよ当社も販売価格の値上げを強いられる状況になっている。
□	ゴルフ場 (経営者)	単価の動き	・来場者数は横ばいだが、客単価は前年実績、予算共にクリアしている。また、売店では地元商材を積極的に販売できるフェアを行う。一方、経年劣化による設備費用が増加している。
▲	一般小売店 [薬] (経営者)	来客数の動き	・来客数は減っている。8月は閑散期ではあるが、販売量、その他もろもろで低下している。
▲	コンビニ (経営者)	お客様の様子	・電気代や燃料費の高止まりが、継続している。
▲	コンビニ (エリア担当)	来客数の動き	・3か月前と比べれば、季節要因で来客数は伸びているが、季節要因以外の影響は考えられない。
▲	コンビニ (店長)	来客数の動き	・買上点数は横ばいだが、来客数は時間帯ごとに、朝、昼、夕方にピークがあったのが、大分なくなってきて、ちょっと厳しい状況である。
▲	その他専門店 [酒] (店長)	お客様の様子	・夏のお盆前までは順調だったが、後半は新型コロナウイルスの感染第7波の影響を受けている。今後も厳しくなるのではないかと。日用品の物価が上昇しており、客が口に出して言うわけではないが、様子をみてお酒への消費をやや控えていると思われる局面がある。
▲	高級レストラン (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の別系統による爆発的な第7波の感染拡大で、行動制限はないものの、会食の機会は少人数に限られ、宴会等の開催は限られている。
▲	スナック (経営者)	来客数の動き	・ゴールデンウィークの頃は良かった。忙しくて幸せだった。今ではもう、良いも悪いも新型コロナウイルス感染症次第なので、どうにもならない。
▲	観光型旅館 (経営者)	販売量の動き	・7月上旬までは、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少や県民割の後押しによって売上が回復してきていたものの、7月後半から新型コロナウイルスの感染第7波により、予約の増加ペースが急に鈍化している。

	▲	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数増加に伴い急激に来客数が減少し、予約のキャンセル等が増加している。しかし、今までの新規感染者数増加時とは違い、利用客や行動する方が以前よりも多くいるため、極端に落ち込むことはなかった。ただし、団体や法人関係の利用はほぼ消失したので、結果的には悪化傾向にある。
	▲	通信会社(社員)	販売量の動き	・CMや広告の反響が鈍くなっている。これといった原因は不明だが、景気や市場の低迷というより、競合他社の大規模なキャンペーンの影響が大きいと思われる。
	▲	その他サービス [貸切バス] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波がなかなか落ち着かないため、人の流れが悪い。
	×	商店街(代表者)	来客数の動き	・県内唯一の百貨店が来年2月に閉店する。これに合わせて閉店を決めた店、特にここ数年で出店した店の閉店決定が、目につくようになってきている。街への人出も、コロナ禍では先々に明るい材料が全くない。
	×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・物価高で、買い回り商材を買う余裕がないように見受けられる。
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場](経営者)	来客数の動き	・行動制限のないなかではあるが、新型コロナウイルスの感染第7波の影響を受け、団体予約はキャンセルになっている。新規感染者数が高止まりで減らない状況で、厳しい状態が続いている。
企業 動向 関連	◎	*	*	*
(甲信越)	○	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・人の動きは前年より大幅に増加したが、8月は大変暑い日が続いたために、ビール系の飲料に押され、やや苦戦している。
	○	電気機械器具製造業 (経営者)	それ以外	・今月は部材の入荷があり短納期対応で忙しく、景気の良さも感じている。
	□	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・前月より若干受注は減少しているが、おおむね計画の範囲内である。
	□	窯業・土石製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に低迷している。新型コロナウイルス感染症の影響で、ワークショップ予約も減少している。
	□	建設業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・直近では、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているので、受注活動を少し控え気味にしている。
	□	金融業(調査担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染再拡大で、観光関連への影響が懸念されたものの、今のところ想定を超える落ち込みはみられない。製造業の受注は、高水準ながら半導体不足の影響が継続し、一進一退の状況にある。
	□	金融業(経営企画担当)	取引先の様子	・3か月前よりは観光客の増加がみられ、観光業の景気が上向くと期待している。ただし、新型コロナウイルスの感染第7波の影響から、やや鈍さを感じている。
	□	新聞販売店[広告] (総務担当)	それ以外	・依然として物価高が続いており、この先も生活必需品を含め値上げ傾向にある。企業や消費者は、節約傾向で量的に流通量が減っているように感じられる。
	▲	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	取引先の様子	・小売店舗ではお盆期間中の客足が大幅に減少し、売上が低迷している。催事をして、新型コロナウイルス感染症のまん延の影響で、来場客は前年の1/3と散々な状況である。さらに、催事の売場担当者の感染や家庭内感染で数日休業する店舗があったりと、様々な影響が出てきている。
	×	食料品製造業 (製造担当)	それ以外	・仕入価格はどんどん上がってきているものの、値上げができず、利益を出すには厳しい状況である。
雇用 関連	◎	—	—	—
(甲信越)	○	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は前年7月以降、前年同月比で増加が続いている。有効求人倍率も前年8月以降は1倍を超えており、直近では、新型コロナウイルス感染症の発生前の水準まで回復しつつある。
	□	人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・相変わらず、消費動向が上向かない。週末などの通勤時に駅前を見ても買物袋を持っている方が少なく、百貨店も貸切状態で地下食品売場だけは集客しているようだが、客は減っている。まだ景気回復はない。

□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・観光需要の高まりから求人が出てきている一方、建設業等ではウッドショックにより求人が低迷している。その他原材料不足や輸送コスト、電力コストなどの相次ぐ値上げによる求人への影響も懸念される。
□	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・景気の上向きに直前に対応するため、契約、派遣、パート等社員の求人が増えている。正社員求人も増加傾向にはあるものの、採用に慎重な姿勢は崩していない。
▲	—	—	—
×	—	—	—